



補習校だより

平成24年度 第21号

平成24年9月29日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

校長携帯 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

子ども講演会で思うこと

校長 永井 晋

先週は子ども講演会を行いました。前出村代表会長のご紹介で、グスマン師範率いる IKKO 極山空手の方々に演武を見せていただきました。演武にはご自分の道場から生徒さんを10人以上連れてきていただき、迫力のあるものでした。礼に始まり、最初に基礎練習を見せていただきました。その後は、組手を見せていただいたり、瓦割り成らぬ板割りやコンクリート割り、さらにはバット折りまで見せてくださいました。他にも護身術や希望者には実技指導も行っていただき、子どもたちも（大人たちも）大変楽しんでいました。中でも幼稚部の子どもたちは座って見ていたのに、基礎練習の「突き」が始まると一緒になって「突き」をしていたのが印象的でした。興味があると自然に体が動いてしまうのですね。



さて、私は中学の時に柔道部に所属していましたし、教員になってからはずっとバレーボール部の顧問をしていました。その経験から感じたことは、「礼に始まり、礼に終わる」ということ。日本の武道、芸道に共通する教えです。その道によって礼のあり方に若干の違いはあれ、初めから終わりまで相手に対する敬意を失ってはいけません。勝ち負けいずれにしても相手を尊重しなければいけません。武道においては、礼の前にガッツポーズをするというのは相手に対する礼を失する行為とされます。喜びの表現は舞台を降りてから行うのが礼儀です。これは、「生き方」にもつながる考え方だと思います。ここアメリカでは感情表現が大切な文化の一つです。しかし、感情を押し殺し、相手を尊重することは日本の大切な文化の一つです。



もう一つは基礎練習の大切さです。どんなスポーツでも一番大切なのは基礎です。ダルビッシュでも練習の最初はウォーミングアップですし、キャッチボールです。勉強も同じです。いきなりはできるようにはならないのです。毎日、こつこつと基礎を練習し、初めて応用が理解できるのです。補習校の子どもたちは現地校と補習校両方の学習を行わなくてはなりません。どちらも基礎が大切なのは言うまでもありません。

